

No.105

ふれあい ネットワーク

ふくし 印西

主な内容

- 被災地支援ボランティアバスツアー……………P1
- 赤い羽根共同募金……………P2
- 支部だより……………P2
- 福祉作業所コスモスの「エコ平板」……………P3
- ボランティアまつり……………P3
- 寄付者名簿……………P3
- インフォメーション……………P4

編集と発行

社会福祉法人
印西市社会福祉協議会
〒270-1325 印西市竹袋614-9
印西市総合福祉センター内
☎0476-42-0294
FAX 0476-42-0338
E-mail info@inzaishakyo.jp
URL http://www.inzaishakyo.jp

仮設住宅を訪問・交流
一日目を朝5時に印西市を出発し、塩竈市内の仮設住宅に午前10時30分頃に到着。現地ボランティアスタッフの方々の協力を得て市民の皆様より提供していただいた支援品をお渡ししながら各戸を回りました。

8月22日、23日にかけて、小学5年生から中学3年生の児童・生徒の親子7組15名が参加し、宮城県塩竈市を訪ねました。
現地では、塩竈市民ボランティア「希望」代表の曾澤純一郎氏の協力のもと、仮設住宅への訪問や被災地の視察を行いました。

**宮城県塩竈市へ
親子で行く被災地支援ボランティアバスツアー**
平成23年3月11日に発生した東日本大震災から2年半が過ぎました。東北地方を中心に甚大な被害をもたらしたこの震災も、新聞やテレビなどで目にする機会も少なく、私たちの記憶からも少しずつ薄れてきているのではないのでしょうか。しかし、被災された方々は、未だ復興の途中にあります。この震災を風化させないために復興支援の一助として被災地への支援活動を行いました。



南三陸町防災対策庁舎跡

東日本大震災を 忘れないために。 被災地支援ボランティアバスツアー

視察場所として、石巻市立大川小学校と南三陸町防災対策庁舎を訪問しました。どちらも、多くの尊い命が犠牲になった場所です。特に大川小学校は、同じ年代の児童が多く亡くなった場所です。曾澤代表から現地の状況を見て、何かしらを感じ取って考えてくれればとの話であったので、視察を決めました。

一日目の夕食後には、東日本大震災の当時の状況やボランティアとして何が出来るのか等、色々なお話をいただきました。感じた被災地の現状を伝えていくこともボランティア活動である事を教えられました。

大川小、南三陸町防災対策庁舎視察
視察場所として、石巻市立大川小学校と南三陸町防災対策庁舎を訪問しました。どちらも、多くの尊い命が犠牲になった場所です。特に大川小学校は、同じ年代の児童が多く亡くなった場所です。曾澤代表から現地の状況を見て、何かしらを感じ取って考えてくれればとの話であったので、視察を決めました。

仮設住宅の皆さんが笑顔で迎えてくださり緊張がほぐれ、色々なお話を聞くことができました。笑顔で一歩ずつ前を向いて頑張っている生活されており、逆に励まされることも多かったです。思い出す一方で当時の状況を思い出して涙を浮かべる方もいて、被災された方の心情は、はかり知れないと痛感しました。

午前10時過ぎにいわき市社会福祉協議会に到着し、いわき市社協ボランティア活動センター草野淳氏より地震発生時の状況から災害ボランティアセンターの立ち上げと運営、これからの取り組みについて話を聞きました。

3月11日に発生した地震と津波そして火災。さらに原発事故と相次ぐ災害に見舞われました。こうした中いち早く、災害救援ボランティアセンターが立ち上がったのは、市役所職員の方が阪神・淡路大震災時に派遣されていたことを経験し、市と社協が災害ボランティアセンターについての話し合いを震災前にしていたためでした。センターを立ち上げたため、大震災などの経験がなかった。そこで、全国の社協からの応援を受け、駆けつけてくれた九州地区の社協職員が自分たちの経験を活かし、防災計画を読み

鉄骨のみとなり、コンクリートも剥ぎ取られ、津波の破壊力は凄まじいものでした。トラックが行き交い、まだまだ復興の道のりは長く、息の長い支援の必要性を感じました。被災地の現状を見て、現地の方のお話を聞き、そこから何かを感じ、自分たちに何が出来るかを考えるきっかけになった事と思います。

**いわき市災害救援
ボランティアセンターの取り組み**
9月5日、一般市民ボランティアの方々25名が福島県いわき市を訪問しました。
現地では、いわき市社会福祉協議会、浜風商店街への視察を行いました。

また、厳しい状況の様子を見ていただき、地元へ帰って多くの方に話してほしい。そして、多くの人に来ていただき、被災地の経済復興に協力をしていただきたいと思います。

最後に、皆が笑顔になれるように頑張っていきたいと思います。

濱風商店街を訪れて
いわき市社協を出発し、同市久之浜町にある浜風商店街を訪問しました。この商店街は震災後、地元住民の声により、久之浜第一小学校の校庭に建てられた、全国で最初に立ち上がった仮設商店街です。

込み、的確な指示を出してくれただけでセンターの運営を進めることが出来たと感謝していました。その後、一日何百人と来るボランティアの受付、ニーズを調整し、マッチングし、送り出すという作業が続いたとの事です。ガレキ等の片づけは大切なが、人のチカラによる傾聴・交流・ふれあいはもっと大切だと、色々なエピソードを交えながら話していただきました。

被災地支援ボランティアバスツアーを終えて……参加者感想

●宮城県塩竈市へ「心に刻まれた被災地ボランティア」 佐藤 美智代さん
震災から2年半が過ぎても、世の中は次々に大きなニュースが流れる毎日です。今年も防災の日を前にして東日本大震災についてあれこれ考えていた頃に親子で行く被災地ボランティアの参加募集が届きました。沢山の犠牲者がたて大川小学校の子ども達が、まだ全員みつからないというニュースが流れたのもこの頃です。映像では何度も目にしてはいる被災地ですが、被災者の方の現実はどうなんでしょう。随分月日が過ぎてしまっただけ、今頃になって私に何が出来るのか、沢山のボランティアの方はまだ現地に残っているのかなど漠然と考えておりました。身内の者も直後にボランティアで現地入りして、当時の悲惨な状況を聞いておりましたので、娘と共に参加してみようと思いました。
大川小学校や南三陸町の防災庁舎は震災の象徴として取り上げられている場所なので、行き先として分った時は非常に厳粛な気持ちになりました。現場の周りには何も無く、建物の骨組みしか残っておらず殺伐としたもので衝撃的でした。怖かったです。
娘には、私達一人一人は本当に小さくて何もできない存在だけど、こうして見て来た事を皆に話をする事もボランティアなんだよと伝えました。娘は早速、学校や塾の発表会の時に撮ってきた写真と一緒に被災地のスピーチをしたそうです。お友達やそのお母様から、その話をされた時に、遠く離れた私達には目に見える人や物資の支援ももちろん大切ですが、いつまでも被災地の事をわすれずにいる事も大切な使命なんだと改めて思いました。行って良かったです。
最後になりましたが、今回の親子で行く被災地支援ボランティアバスツアーの企画を立て連れて行って頂き、このような貴重な体験をさせて下さった社会福祉協議会の皆様にとっても感謝しております。ありがとうございました。



▲佐藤さん

●福島県いわき市へ「被災地支援ボランティアに参加して」 宮崎 文雄さん
以前から「被災地支援ボランティア」に参加したいと思っていた事が今回、実現出来て大変良かったです。
朝7時に総合福祉センターをバスで出発し、福島県いわき市に向かいました。10時半に現地に到着。早速、いわき市社会福祉協議会の職員の方が、去る平成23年3月11日に発生した東日本大震災の状況を生々しく語って下さいました。時々、涙声になりながらの説明に会場もシーンとなり、こちら胸がしめつけられる思いでした。職員の最後の言葉の中で「片づけだけがボランティアではない。被災者の気持ちになる事が大切です」は、私の心の中に強く残りました。
次に向かった先は久之浜町の「浜風商店街」。プレハブ住宅を数軒並べただけの商店街で、そこには被災時の写真がたくさん貼ってあった。写真を眺めて、改めて大地震の後に津波の怖さを知りました。私は買い物をする事で、少しでも被災地の支援になればと思い、手に持ちきれない程の買い物をしました。
今回の被災地支援ボランティアは、日帰りであった為、現地でのお手伝い等は出来なかったけど、私が見た事、感じた事を家族を含め多くの方に話し、被災者の方は現在でも苦しんでおられるが、明るく元気に復興に向けて頑張っている事を伝えていこうと思います。



▲宮崎さん

※支援品、義援金の報告は2ページに掲載しています。

赤い羽根共同募金運動にご協力を

今年も10月1日から12月31日に亘り「赤い羽根共同募金運動」が展開されます。赤い羽根共同募金にお寄せいただいた募金は、民間の社会福祉施設や福祉団体などの整備や運営費、福祉協議会の行う事業費として地域の福祉活動に使われています。

昨年、印西市で市民の皆様からお寄せいただいた募金額は5,331,771円



▲募金ありがとうございます。

本年も町内会、自治会、町会、区の皆様のご協力による戸別募金、市内駅頭や商業施設での街頭募金、市内の企業や商店を対象とした法人募金、学校募金や職域募金など様々な募金活動を展開いたしますので、ご理解とご協力をよろしくお願いたします。

募金活動は「寄付」という形で、いつでも参加できるボランティア活動です。

となりました。皆様の温かいご協力ありがとうございます。お寄せいただいた募金額の総額から約60%となる3,265,000円が社会福祉協議会に配分され、ふれあい給食や被災地支援ボランティア事業、広報紙の発行など様々な地域福祉事業の推進のために活用されています。

誰かの為に、自分の住む町の為に、皆様からの温かいご協力の募金をお願いいたします。



12月1日からは
歳末たすけあい募金に
ご協力を

また、12月1日からは、「歳末たすけあい募金運動」が始まります。

昨年は、2,404,636円の募金が寄せられました。いただいた募金は「歳末たすけあい募金配分委員会」で決定した配分計画に基づき、年末に地域の民生委員児童委員会のご協力に

より、一人暮らしの高齢者世帯等への配付や、障がい者団体への配分を行いました。

赤い羽根共同募金と同様に、12月から始まる歳末たすけあい募金につきましても、皆様のご協力をよろしくお願いたします。

よろしくお願いします!

10月2日(水)朝、15日(火)夕方に市内の木下・小林・ニュータウン中央・印西牧の原・印旛日本医大の各駅で街頭募金を行います!



共同募金会で義援金を募集しています

平成25年9月2日に発生した竜巻及び台風18号の暴風により、家屋の倒壊等の大きな被害が生じたため、この災害で被災した方々を支援することを目的に、義援金の募集を実施します。

ご協力をいただける方は社会福祉協議会まで、義援金をお持ちください。よろしくお願いいたします。

「埼玉県竜巻災害義援金」

【募集期間】9月3日(火)から10月31日(木)まで

「埼玉県台風18号災害義援金」

【募集期間】9月18日(水)から10月31日(木)まで

受付

印西市社会福祉協議会(日曜日・祝日は休み)



義援金等のご協力ありがとうございました

被災地支援ボランティアバスツアーを実施するにあたり、訪問先への支援品及び義援金を募集したところ、皆様からたくさんのご協力をいただきありがとうございました。次のとおり、お渡しをしましたのでご報告します。

【支援品】

宮城県塩竈市仮設住宅の150世帯の皆様へ洗剤、タオルをお渡ししました。

【義援金】107,714円

内訳/塩竈市民ボランティア「希望」へ53,625円
いわき市社会福祉協議会へ54,089円

社協支部だより

【木下支部】

木下支部事業地域支援「お買い物送迎支援」〈お楽しみ買い物ツアー〉を企画して



平成19年9月、木下地区座談会が、印西市社会福祉協議会の主催により開催されました。その中で、木下東にあったスーパーが撤退し、高齢者の皆さんが日常大変不便をしているお話がありました。ニュータウンに大きな店がありますが、バスに乗って出かけるのも1日かかり、買い物袋を掲げるとの帰りは容易ではありません。

そこで、平成20年12月第1回を行いましたところ、12名もの参加がありました。年末の事もあり、大きな買い物もありましたので玄関までお送りするなど大変喜ばれました。その笑顔を頼りに、その後年2回事業として開催し、10回を数えることが出来ました。送迎用の車両は、個人の車両、時には社会福祉協議会の車両をお借りしての運用など、交通事故の無いよう安全運転に細心の注意をして開催してきました。これからも皆様に安全で気軽にご利用いただけるよう、継続させたいと頑張っているところです。



【船穂・牧の原支部】

子ども達を見守ろう!

8年前、幼い子どもの悲しい事件が多く報道されたことがありました。地域で活動している支部社協のメンバーは(主に民生委員)、自分達に何か出来ないかを地域の集まりで呼びかけました。その時に、すぐ声をかけて下さったのが、小学校の校長先生でした。「子ども達の下校時に、学校周辺をパトロールしてもらえませんか?」とのお話でした。さっそく、地域のボランティアに協力を依頼し、安全パトロールが始まりました。



現在は、原小と西の原小で活動しています。健康の為、ウォーキングを日課にしている男性、わが子が小学校の卒業生だった主婦など前向きで、志を持った人達です。

季節の移ろいを感じながら、日々の何気ない出来事を語らいながら歩きます。また何よりも、かわいい子ども達と触れあえる事が喜びです。

私達の支部は、ボランティアは出来る時に、出来る事を無理なくをコンセプトにやっています。細く長く続けることが、地域の為になると思うからです。

この活動も、高齢化が進んでいるのが悩みの種です。しかし、多くの方に地道に声かけをし、楽しく続けていきたと思っています。

善意の光

寄付者芳名簿
(順不同・敬称略)

平成25年6月1日～平成25年8月31日

一般寄付

計26件 428,663円

- 和歌の会 ●七畝割町内会・消防団第3分団
- 家庭倫理の会白井市 ●印西民謡連合会
- 横井佳代子 ●印西山草会
- MS&ADインシュアランスグループ(3件)
- 有阪安子 ●理容ボランティアグループ
- マルハン千葉ニュータウンフリーマーケット
楽市楽座(2件)
- 長谷川きよしコンサート実行委員会
- 新鮮市場マルエイ牧の原店(2件)
- 石垣小夜子 ●旧印旛村農業委員OB会
- 中澤とし ●松崎親睦会 ●北総歌謡協会
- 匿名5件

切手・ハガキ・商品券等寄付

●匿名2件 計2件

物品寄付

●匿名1件 計1件



僕らの作品が街に

福祉作業所コスモスの「エコ平板」



▲竹袋稲荷神社例大祭の山車の様子



▲このモザイク作品は、福祉作業所コスモスの皆さんが制作しました

JR木下駅北口の駅前広場にカラフルなモザイクができてあがりました。この材料に印西市立福祉作業所コスモスのメンバーが制作した「エコ平板」がつかわれています。

「エコ平板」とは、モルタルを入れた型枠に建設現場で出るレンガ、瓦や石、タイルなどの廃材を砕いてきれいな模様と並べた平板のことです。現在、全国20か所の障がい者施設などで作られています。

木下駅前広場のモザイクは、竹袋稲荷神社例大祭の山車がデザインされており、福祉作業所のメンバーが専用の接着剤を塗り、タイルを並べるといった工程に携わりました。

また、8月29日、仕上げとしてモザイクを磨く作業を行いました。ブラシがけ、水洗いをして、セメント汚れの落ちたエコ平板。メンバーはそれぞれに自分が作ったものを見つけて誇らしい気持ちの様子でした。

木下駅にお立ち寄りの際には、北口駅前広場の「エコ平板」を是非ご覧ください。

調停相談が行われます

相談料
無料

【開催日時】11月9日(土) 9:00～16:00
【会場】印西市中央駅前 地域交流館2号館 3階
 (北総線「千葉ニュータウン中央駅」南口から徒歩5分)
【相談内容・身の回りの問題】
 離婚(財産分与・年金分割等)、親子関係(養育費・面会交流等)、遺産相続、サラ金債務、賃貸借、土地・建物、近隣とのトラブル、交通事故、その他
【その他】調停委員と弁護士が相談にあたります
 相談料無料
【主催】佐倉調停協会
【問合せ】☎043-484-1215
 (千葉地・家裁佐倉支部内 庶務課)

第17回 ボランティアまつり開催!!

10月6日(日) 10:00～14:30

【会場】印西総合福祉センター



【主催】印西市ボランティア協議会 【後援】印西市社会福祉協議会

10月6日(日)印西市総合福祉センターにおいて、ボランティアまつりが行なわれます。

このまつりは「幸せづくりの輪をひろげよう」をスローガンに、印西市ボランティア協議会が主催するもので、今年で17回目となります。

毎年、同会に加盟する各ボランティアグループや他のボランティアグループ、福祉施設がお互いに協力し合い、それぞれの活動を活かした手話体験や和太鼓体験、楽器演奏、おもちゃの病院。また、館内、館外での飲み物や食べ物の販売、バザーなど色々な催し物が行われます。どうぞ、ご家族でお気軽にお出かけください。お待ちしております。

バザーには
掘り出し物が
いっぱい♪

模擬店には
おいしい物が
いっぱい♪

おもちゃの
病院が開院!
修理をします
ので持って
来てね♪

第5回 フードドライブ開始

家庭に眠っている
食品を募集
しています。

フードバンクちば

【受付期間】10月31日(木)まで
【受付窓口】印西市社会福祉協議会
【問合せ】印西市社会福祉協議会
 ☎0476-42-0294
 フードバンクちば
 ☎043-375-6804

**第4回 フードドライブでの
受付報告** (5月20日～6月28日まで)
 印西市社会福祉協議会の受付総重量は111.5kgでした。ご協力ありがとうございました。

社会福祉協議会では、9月17日から10月31日までフードバンクちばが主催する『第5回フードドライブ』に協力しています。

フードバンクとは、包装の破損や印字ミス、賞味期限に近づいた等といった理由から、品質に問題がないにもかかわらず廃棄されてしまう食品・食材を企業や個人等から引き取り、必要としている福祉施設・団体等や生活困窮者へ無償で提供する活動です。

食品ロスを削減し、企業や個人の社会貢献を推進することで、食品確保が困難な方々の役に立つという新しい食のサイクルの形でもあります。

社会福祉協議会では、第3回フードドライブから受付窓口として協力をしてきました。第4回では、印西市社会福祉協議会で111.5kgのご寄付がありました。引き続き皆様の温かいご協力をお願いいたします。

ご寄付いただきたい食品

お米、パスタ、乾物(のり、豆など)、保存食品(缶詰、瓶詰等)、フリーズドライ食品、インスタント食品、レトルト食品、ギフトパック(贈答品の余剰等)、調味料各種、食用油、飲料(ジュース、コーヒ、紅茶等)など。

※常温で保存可能で、賞味期限が1か月以上あるもの。

市内 26,000部 広告掲載者募集!!

会社の広告を掲載して地域福祉に役立ててみませんか?印西市社会福祉協議会では、【ふくし印西】の広告主を募集しています。

2・3面 (1カラー) 5,000円
 4面 (2カラー) 6,000円

※募集要項は別途お問い合わせください

fukushi inzai information

書き損じハガキを募集します

募集期間 平成25年10月1日(火)から平成26年1月31日(金)まで

ふれあいハガキの会は、ひとり暮らしの高齢者へ年間を通じて年賀状、暑中見舞等の季節のお便りを通じての交流活動を行っています。今年度、年間活動予定を更に広げるための一助として、皆様の家庭で眠っている書き損じ官製ハガキを募集いたします。たくさんの方のご協力をお願いいたします。【届け先】印西市社会福祉協議会まで

介護用具の貸出

高齢者や障がい者、傷病などにより介護用具が必要となった方に車椅子や介護ベッドの貸出しを行っています。

【貸出用具】車椅子・介護ベッド
【貸出期間】概ね2か月
【費用】無料(但し、介護ベッドは搬入費用として3,000円がかかります。)

※在庫に限りがありますので、お問い合わせください。

ワンコインサービス

高齢者や障がいをお持ちの方などが抱える日常生活のちょっとした困りごとを地域のボランティアが解決する有償の福祉サービスです。主なサービスは電球交換やゴミ出しなどの簡単な作業で15分から30分程で終了するお手伝いを行なっています。詳しいサービスメニューはお問い合わせください。ご連絡お待ちしております。

ご利用下さい! 社協のサービス

心配ごと相談

日常生活でのちょっとした困りごとや、心配ごとなどの相談を受け付けています。(プライバシーは厳守いたします。)

【開所日】毎週水曜日・金曜日
※祝祭日を除きます
【場所】印西市総合福祉センター
【時間】10:00~12:00
13:00~15:00
【費用】無料

福祉車両の貸出

普通乗用車への乗降が困難な人を抱える家族に福祉車両を貸出しています。(車椅子対応軽自動車)

【費用】1キロにつき30円
※車の空き状況については、お問い合わせください。

外出支援サービス運転ボランティア募集

社会福祉協議会では、印西市からの受託事業として、市内に居住し住所を有する介助なしでは公共交通機関(電車・バス・タクシー)を利用することが困難な方を対象に、外出支援サービスを実施しています。

このサービスは、社会福祉協議会に登録する運転ボランティアが病院や公共機関への送迎などのサービスを行っています。そこでサービスの担い手である運転ボランティアを募集しています。

●10年以上に亘り無事故無違反でボランティア活動に
●70歳未満の方
●募集人数：4名(先着順)
●ただし定員になり次第終了
●申込締切：10月15日(火)
●申込：社会福祉協議会
●申込：社会福祉協議会
0476(42)0294

また、応募の際に取得運転免許の内容や、福祉関係の資格の有無についてお伺いいたします。

※運転者講習会の費用については社会福祉協議会で負担致します。

福祉作業所 未使用タオル募集!

印西市立福祉作業所コスモスでは、未使用のタオルの寄付を受付しています。頂いたタオルで雑巾等を作成し、製品として販売をいたします。使っていないタオルがありましたら、ぜひ、ご協力をお願いいたします。

【問合せ】印西市立福祉作業所コスモス ☎0476-42-0470(直通)

障がい者のためのパソコン教室

障がい者が当たり前で働ける社会を目指します。IT技術の活用により、障がい者の自立と就労を支援します。

【開設日時】毎週月～木曜日、10:00～17:00(常設の自由型ですので、この時間帯で都合のいい時間にいつでも自由に利用できます。これ以外の曜日でも希望により対応可能)

【内容】一人ひとりの障がいに合わせたパソコン技術習得のためのIT講習会の開催と就労支援。基本操作から中級程度まで、個別またはグループレッスン。

【対象】原則として障がい者手帳をお持ちの方 【利用料】手帳所持者は無料
【場所】地域活動支援センターフォレスト 印西市高花2-3-4 サクラファミリア別棟
【問合せ】☎0476-33-6755(担当/富所) メールnpoforest@gmail.com

★ボランティアも同時募集中!!

NPO法人ワイルドストロベリー 利用者募集

障がいのある人に、充実した時間を過ごしてもらうことを目的に、余暇活動と見守りを行っています。皆さん、散歩やボバースボール、トランポリンで体を動かしたり、ワイワイと楽しく過ごしています。送迎も行っていますので、お気軽にご連絡ください。

【問合せ】NPO法人 ワイルドストロベリー
印西市岩戸2212
☎0476-29-4640(担当/小川)

マーブル工房 利用者募集

障がい者(知的・身体・精神の手帳をお持ちの方)の生活の場として、地域Ⅲ型事業を開設しました。お菓子作りや販売、さをり織りや絵画などの創作活動も行っています。一緒にお昼ご飯も作りますよ。気軽に見学からどうぞ...

【問合せ】特定非営利法人マーブル福祉会
印西市岩戸3245-1
☎0476-99-2125(担当/飯田)9:00~16:00(月~金)

NPO法人フレンド・ブレンド 交流事業 「ミックスジャム」のご紹介

フレンド・ブレンドは障がい者・児の父母が中心となり「ありのまま」が尊重される地域社会づくりをめざし設立しました。キリン福祉財団の助成を受け、下記の交流事業「ミックスジャム」を開催しています。

★茶話会(毎月第1木曜日)子どもの発達の悩みを分かち合ひましょう。
★日曜サロン(毎月第2日曜日)家にこもらず親子で遊びに来てね。
★フィジカル・ハビリテーション(奇数月第4水曜日)賢く福祉サービスを利用しよう。

【問合せ】NPO法人 フレンド・ブレンド
☎090-2545-7607(代表/大久保)
☎080-5082-0970(事務局/増田)

西の原はり・きゅう治療院

体の痛み・疲れ・バランスや、原因の分からない症状などでお悩みの方、ご相談ください

電話予約 **090-1658-5490** (三浦)

受付対応可能時間 月~金:13時~15時 / 土~日:13時~17時
(対応できない時は留守電へ伝言お願い致します)
携帯電話からのショートメールでもOKです。

「あなたの街の法律家」

こんな時、みなさまの力になります!

- ①成年後見制度を知りたい ②相続について知りたい
- ③遺言書をつくりたい ④認定農業を申請したい
- ⑤在留カード手続 ⑥会社・農業法人・NPOを設立したい
- ⑦建設業や運送業・介護タクシーの許可を取りたい

初回の相談30分は無料です(要予約・電話相談は行っておりません)
みうら行政書士事務所 印西市西の原 2-3-3-101

☎36-7068 毎日 午前7時~午後8時

曹洞宗大雄山 東祥寺 とうしょうじ

仕事の悩み事はありませんか?



1人で悩まず、これからのことを一緒に考えましょう。お気軽にお電話ください。

24時間対応 相談無料 ☎0476-99-1707

印西市鎌苅543-1 Google 東祥寺 で検索